

# 歯科口腔 ケアで 組織連携



松任石川中央病院 と つるぎ病院

「再入院が減少」成果も



白山市の公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院は、歯科口腔<sup>こうくう</sup>ケアで連携を進めています。「お口の健康」を維持することは、肺炎や認知症、糖尿病などの予防や悪化させないために大切です。病院の組織同士が歯科や口腔ケアで密接に協力することは珍しく、退院した患者の再入院が減っている成果が出ています。



酒井 尚美  
看護師



赤田 巧子  
歯科衛生士



岡部 克彦  
歯科医師

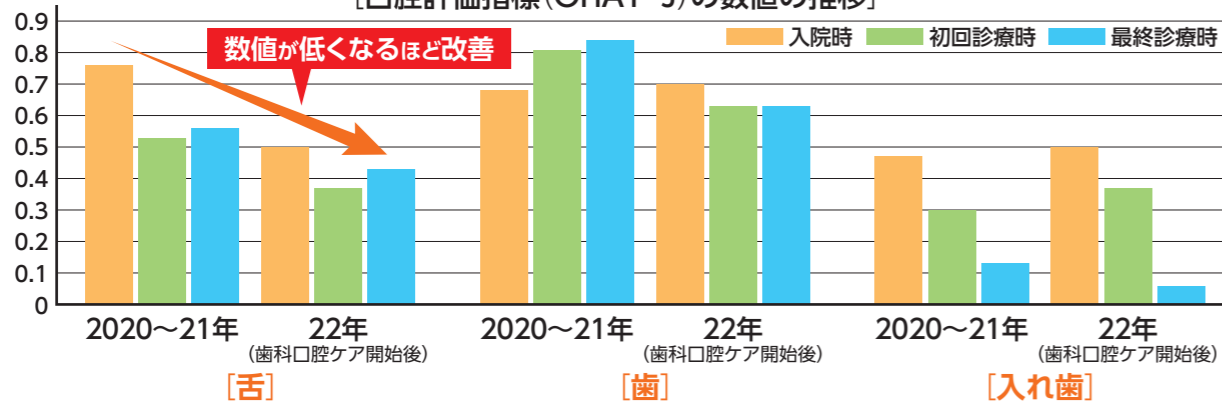
病棟で入院患者の入れ歯を調整する  
岡部歯科医師(左)



具体的な成果

- ぐらぐらした歯の自然脱落と誤飲を防止
- 痛みを伴う歯のトラブルの解消
- 入れ歯の調整により食事摂取量の増加
- 固形食を食べられるようになった
- 歯垢(プラーク)が減少した

【口腔評価指標(OHAT-J)の数値の推移】



2022年5月で、開始前後のデータを比べると、8項目のうち、特に舌と歯、入れ歯の3項目で改善していることが分かりました。また、入院時と診療が必要でなくなった時の比較でも、口の状態は健康的になっていくことが明らかです。

歯の誤飲を防ぐ

この指標は「OHAT-J」で、数値が低いほど健康です。では、2病院が連携したこと、どのような成果があったのでしょうか。

口の健康改善明らか

岡部歯科医師による看護師向けの講座も開かれ、看護師が歯科口腔ケアの本格的な知識を学んだことでやる気や技術が高まり、患者へのケアは一層充実してきました。岡部歯科医師は「回診にくるたびに患者さんの歯や口の中がきれいになっていく」と強調します。

しっかり食事取れる

酒井副部長は「しっかり食事を取れる患者が増え、入院を繰り返すケースは減っている」と説明し、今後も患者の健康へ歯科口腔ケアを進めると意気込んでいます。

- 一 公立松任石川中央病院  
白山市倉光3丁目8  
TEL 076(275)2222
- 一 公立つるぎ病院  
白山市鶴来水戸町1  
TEL 076(272)1250



歯科口腔ケアの回診を行うスタッフ=白山市の公立つるぎ病院

【歯科口腔ケアチームのメンバーと役割】



全身にとって大切  
しっかりと噛んで食事できる人

歯科口腔ケアは単に歯や口の粘膜を守ることだけが目的ではありません。口の中が不衛生で細菌などが過剰に繁殖すると、肺や血管に細菌が入り、誤嚥性肺炎にかかりやすくなります。

の方が、脳が活性化して認知症になりにくいとも言われます。口の健康を保つことは全身にとって大切なことです。公立つるぎ病院での歯科口腔ケアは月2回、行われます。同病院には歯科口腔外科がないため、公立松任石川中央病院の岡部克彦歯科医師、赤田巧子歯科

7職種でチーム医療

例えば、歯茎が痩せて入れ歯がすぐ取れてしまう患者では、入れ歯の形が歯茎に合うように安定剤を着けて調整します。患者は「落ちなくなって良かった」と喜んでいました。歯がぐらぐらして抜けそうになっている場合は、患者本人と家族の了承を得た上で、その場で抜くこともあります。持参した医療器具を使い、麻酔の注射をするので痛みはほとんどありません。縫合した1週間後の抜糸は、つるぎ病院の谷卓院長ら医師が行うので安心です。

入れ歯落ちないように

衛生士が訪れて病棟を回診します。つるぎ病院の医師や看護師らも加わり、全7職種がチームで活動します。回診の対象者は、歯や義歯(入れ歯)、唇、舌などの状態で決めます。全ての入院患者のうち状態が良くない患者4、5人のベッドを回って、順番に診察します。